

2022年7月25日

北海道経済連合会 会員 各位

北海道経済連合会
北海道科学大学

**北海道経済連合会×北海道科学大学 デジタル人材育成事業
教育に活用可能な企業の実データご提供のお願いについて**

北海道経済連合会（以下、「道経連」）と北海道科学大学（以下、「北科大」）では、産業界・教育界双方の特性を活かし、北海道におけるデジタル人材の育成を目指した事業を開始します。

現在、北科大では「HUS(※1) 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」において、社会の実データを正課科目の教材として活用する講義を行っております。

この度、道経連では、地域企業と連携しながら継続的にデジタル人材育成事業に取り組んでいくための第一歩として、より実社会に即したデータ活用ができる学生の育成を目指し、会員企業及び団体様が保有するデータを北科大にご提供いただきたく、お願い申し上げます。

1. 募集目的

道経連では、道内企業が持続的に成長していくために欠かせない取組の一つとして、デジタル・トランスフォーメーション（以下、「DX」）の推進支援を行っており、現在、デジタル技術の活用による業務変革を目指すリーダー人材のほか、新たな発想・価値創造ができる人材等の育成支援を目的とした各種セミナー等を会員様に向けて実施しております。

これに加え、本年度から新たに、デジタル人材として将来の産業界を牽引し、活躍できる人材の育成並びに産学連携でDXによる地域や企業の課題解決ができる仕組みを構築していくことを目指しております。

北科大では、Society 5.0 時代に向け、本学学生の数理・AI・データサイエンスへの関心を高め、かつそれらを適切に理解し、活用する基礎的な能力を育成することを目的として、その知識及び技術について体系的な教育を行うために、「HUS 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」(※2)を開始しました。2021年度入学生から全学必修のプログラムとしています。

プログラムの授業科目のひとつである「データサイエンス」では、データに基づいて課題解決する際に必要な基本的知識と技術について学び、さらに学んだ知識、技術を実際のデータに適用し、問題発見、仮設設定、検証のプロセスを体験することを目指しています。

この度、道経連会員様から、実務において現在使用している、もしくは過去に使用していたデータを募集します。学生は、いただいた実際のデータを基に、実社会におけるデータサイエンスの活用方法を学びます。

実践的なスキルを身に着けた人材の道内産業界への輩出にご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

(※1)… Hokkaido University of Science

(※2)… 受講対象：1年生 843名、2年生 309名（2022年5月1日現在 在籍数）

2. 募集対象

道経連会員企業及び団体

3. 募集データ等

- ・Excel、CSVなどの形式による数値データ（表形式）
- ・各種広告媒体、アンケートデータ

本講義では、参加学生に対して各種アンケートを実施することにより、アンケート結果の分析演習を行うことができます。

例えば、既存の広告（テレビCM、ラジオCM等）や商品パッケージなどを用いて、学生の感じ方や購買意欲などについて講義内でアンケートを行い、その結果を分析します。このため、本取組を通じ、新商品開発・マーケティングに向けた学生アンケートの実施も可能です。

- ・具体的なデータ例については、「別紙」をご参照ください。
なお、どのようなデータが適当かご不明の場合は、「5. 応募方法」に記載の担当者へご相談ください。

4. 応募にあたっての留意事項

次の事項に留意いただき、ご応募をお願いいたします。

(1) ご提供データの選定について

ご提供データは、秘密（機密）情報の流出等により、ご協力会員様あるいは他の企業等が不利益を被る恐れのある情報ではないか、事前のご確認をお願いします。

なお、企業内で現在使用されていないデータ（過去のデータ）でも、問題ありません。

(2) ご提供データの事前準備について

多くの学生が、ご協力会員様のデータを目にすることとなるため、個人情報や機密情報等の記載がある場合は仮名化や匿名化をしていただくなど、データの整形をお願いします。

(3) 次年度以降の継続協力について

ご協力会員様には、今年度のデータ提供のみで終わらず、次年度以降も、デジタル人材育成事業へ継続的・発展的にご協力いただきたく存じます。

(4) データサイエンス科目以外での活用可能性について

ご提供データは、全学必修プログラム内の「データサイエンス」以外の専門科目や、ゼミナール課題などでの使用を検討させていただくことがあります。使用を検討する場合は、事前に対象の会員様へご説明・了承をいただいた上で活用させていただきます。

5. 応募方法

以下のURL または QR コードから応募フォームへアクセスし、必要事項を入力の上、ご応募ください。

(1) 応募フォーム

URL : <https://forms.office.com/r/85CFmVpQjB>

QR コード :



(2) 本事業に係るお問い合わせ先

北海道経済連合会 電話 : 011-251-3592 (労働政策局直通)

担当 労働政策局 西山 (メールアドレス : nishiyama.sahori@dokeiren.gr.jp)

地域政策G 木村 (メールアドレス : kimura.sunao@dokeiren.gr.jp)

6. 応募後の手続き

応募内容を確認後、道経連からご担当者宛てにご連絡いたします。対面にて事業概要をご説明させていただくほか、提供をご検討されているデータに係るヒアリング等をさせていただきます。

7. 本事業のスケジュール

- ・ 応募締切（上記フォームからの応募） : 2022年8月31日（予定）
- ・ ご提供データの提出締切 : 2022年9月30日（予定）
- ・ 北科大教員による教材作成 : 2022年10～11月
- ・ 提供データを活用した授業の開始 : 2022年12月
- ・ 学生による分析結果のプレゼンテーション : 2023年1月（オンライン聴講可能）

8. 本事業へのご協力にあたっての考え方

(1) ご協力会員様のメリット

- ・ 北科大HPにおけるご協力会員名の公表
（例：CSR、ブランディング、大学への協力による企業活動PR、学生からの認知度向上 等）
- ・ データサイエンスのご相談窓口
データサイエンスに係る会員様の困りごとについて、北科大のデータサイエンス専門教員が窓口となり、ご相談いただくことができます。
（例：「データ分析ができない」「データはあるものの活用の仕方がわからない」 等）
- ・ 分析結果の提供
学生目線の見え方や教員コメントを確認・活用いただけます。
授業の様子（分析結果のプレゼンテーション等）をオンライン聴講することも可能です。
（例：在学生（Z世代）対象の新商品アンケート実施、既存データの異なる目線からの分析 等）
- ・ ご協力会員（担当者）のDXリテラシー向上
提供データの準備（選定、加工）や学生のプレゼンテーションの聴講、教員フィードバックを通し、データサイエンスに対する関心を高める機会としていただくことができます。

(2) 次年度以降の事業展望

本事業を通じて、将来の産業界を担う学生が、北海道の諸課題への対応力を身に付けたデジタル人材として実社会で活躍するとともに、DXによる地域の課題解決に向けた産学連携の仕組みづくりができることを目指しております。

ご協力会員様には、今般のデータ提供を契機に、次年度以降、工学部(※)の専門科目内での課題解決型学習や学生の卒業研究等にも継続的にご協力いただくことにより、会員様と北科大との連携を強化させていただきたいと存じます。

(※)…情報工学科、電気電子工学科、機械工学科

<参考 URL>

- ・ 「HUS 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」について
https://assets.hus.ac.jp/news/assets/2022/docs/0528data_science.pdf
- ・ FD・SD 講演会（データサイエンスの実施とその結果）資料
<https://drive.google.com/file/d/106Ra8e0Eb6-dTr1D1oPbDoJ2UEw0ETA4/view>
- ・ 「データサイエンス」の授業用パワーポイント
<https://drive.google.com/drive/folders/12E7C9RtB5Y4-DteK6Lb6-WNRDYzsIHR2>

以上